

研究課題番号	4-2103
研究課題名	高度画像解析技術を用いたプランクトンモニタリング手法に基づく湖沼生態系監視技術の開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	東北大学
研究代表者名	占部 城太郎

1. 委員の指摘及び提言概要

プランクトン分類の専門家不足を補う技術として高く評価できる。また、さまざまな分類階級で同定・集計できるシステムを開発した意義は大きく、水圏の生態学的研究の進展に大きく資すると期待できると同時に、社会実装にむけて、着実に研究成果があがっていると評価できる。一方、群集構造を把握する方法として、環境DNAの活用は広く進められており、本課題の成果との競合が予想できることから、本課題での手法の優位性を確保して、研究成果の中に盛り込んでほしい。また、プランクトン群集予測モデル（サブテーマ4）が豪雨など突発的気象変化に対して、どの程度対応可能かについても検討を加えてほしい。

2. 採点結果

評価ランク：S